



分水地区防災避難訓練(11/27 分水公民館)

問① 4、5年ぶりに市主催の防災避難訓練が行われた。総括はどうか、気付きはあったか。訓練参加については回覧板での案内だけではなく、もっと個別の案内が必要だったのではないか。情報の提供方法などについてはどうか。アンケートの集計結果はどうか。避難所等の見直しが必要と思えるが見直しはされるのか。

答① 合併後、大規模な避難訓練は初めてだったが、この体験を通じて問題点や課題が明らかになった。市民の防災意識と防災力の向上、情報発信の内容や避難場所設置のあり方、本部体制などの検証や本部からの伝達のタイミング、避難所設定などの検証も始めた。提

答② 障がい者の暮らしやすいまちづくりは課題も多く、さまざまな啓発や広報活動が必要。職員意識を高めることも重要。就労継続支援や日中活動の場の施設整備は必要。統廃合で空いてくる施設利用を協議している。

答① 合併後、大規模な避難訓練は初めてだったが、この体験を通じて問題点や課題が明らかになった。市民の防災意識と防災力の向上、情報発信の内容や避難場所設置のあり方、本部体制などの検証や本部からの伝達のタイミング、避難所設定などの検証も始めた。提

答② 障がい者の暮らしやすいまちづくりは課題も多く、さまざまな啓発や広報活動が必要。職員意識を高めることも重要。就労継続支援や日中活動の場の施設整備は必要。統廃合で空いてくる施設利用を協議している。

問① 地域の情報化や市民のICT活用推進は、道路や水道などの社会的基盤の整備同様、現在の社会環境にあつては極めて重要なものであると考えるがいかがか。また、今後の展開について伺いたい。

答① 情報化の推進は非常に重要な課題であるとして認識している。将来的には、子どもたちの安全を確保する児童見守りシステムや、医療、福祉サービスの提供するための住宅ヘルスケアシステムといったものが検討されており、市民の暮らしがより安全安心に、なおかつ便利になると期待している。

答② 高度情報化社会となった今日では、電子図書館という新たな概念が生まれ、図書館の存在価値について改めて注目が集まっております。情報発信基地として期待されつつある。

答① 情報化の推進は非常に重要な課題であるとして認識している。将来的には、子どもたちの安全を確保する児童見守りシステムや、医療、福祉サービスの提供するための住宅ヘルスケアシステムといったものが検討されており、市民の暮らしがより安全安心に、なおかつ便利になると期待している。

答② 高度情報化社会となった今日では、電子図書館という新たな概念が生まれ、図書館の存在価値について改めて注目が集まっております。情報発信基地として期待されつつある。



←市内小学校でもパソコンを利用した授業が行われている



齋藤 紀美江 議員 旭日会

「たかが訓練、されど訓練」市民の命を守るために避難訓練は大事



小林 由明 議員 旭日会

地域の情報化、市民のインターネット等活用の推進を！

市政に対する一般質問

平成23年12月議会では、15名の議員が市政全般にわたって市の考えをいただきました。

この目次では各議員の質問項目を紹介しています。本文は各議員からの寄稿で、掲載の文字数が限られているため、質問項目を絞って記載されている場合もあります。

詳しい議事録は3月ごろに各図書館などで閲覧できるほか、市議会ホームページからもご覧いただけます。



① 齋藤 紀美江 議員 5ページ

1. 防災訓練について
2. 障がい者福祉の取り組みについて
3. クレームへの対応について
4. 自殺予防対策について

② 小林 由明 議員 5ページ

1. 地域情報化へ向けた取り組みについて
2. 図書館運営について
3. ALT (外国語指導助手) について

③ 中島 清一 議員 6ページ

1. 市長の政治姿勢について
2. 東日本大震災について
3. 福祉問題について
4. 教育問題について

④ 本多 了一 議員 6ページ

1. 市長の政治姿勢について
2. 商工観光行政について
3. 農業振興策について

⑤ 樋浦 恵美 議員 7ページ

1. 「心の健康」対策について
2. 子育て、教育環境の整備について

⑥ 埴 豊 議員 7ページ

1. 教育問題について
2. 開通に伴う問題点について
3. 財政問題

⑦ 渡邊 雄三 議員 8ページ

1. 地域における支え合う社会の仕組み作りについて
2. 三条・燕インター駐車場設置について
3. 住宅用火災警報器の設置について

⑧ 齋藤 信行 議員 8ページ

1. 大河津分水路の今後の対応 (旧可動堰周辺の整備) について
2. 燕はひとつプロジェクト事業について
3. 専門的な派遣職員について

⑨ 中條 征男 議員 9ページ

1. 循環・巡回バス運行について
2. 公共施設管理について
3. 農地の荒廃地対策について

⑩ 土田 昇 議員 9ページ

1. 平成24年度予算編成の基本方針と重点施策について
2. 市営住宅の管理について
3. 信濃川可動堰の残土処理について

⑪ 山崎 雅男 議員 10ページ

1. 市長の政治姿勢について
2. まちづくり協議会の果たす役割について
3. 公民館の運営について
4. 農業情勢 (TPP問題) について

⑫ 中山 眞二 議員 10ページ

1. 財政の健全化と公有資産の売却について
2. 花火について
3. 産業について

⑬ タナカ・キン 議員 11ページ

1. 組織のあり方と人材育成について
2. 産業史料館の再生について
3. 酒呑童子行列の再生について
4. 市民サービスについて
5. 図書館サービスについて
6. 公民館活動における文化祭について
7. ヤクルト・スワローズのマスコットキャラである「つば九郎」の使用について
8. 在宅介護手当の見直しについて
9. 特別職報酬等審議会について
10. 法花堂地内の墓地計画について

⑭ 長井 由喜雄 議員 11ページ

1. 燕市の要介護者をめぐる状況について
2. 柏崎刈羽原発に伴う安全協定の締結について
3. 市の避難訓練と災害情報の発信手段および大河津分水河口拡幅の国への要望について
4. 国保のジェネリック医薬品軽減通知について

⑮ 阿部 健二 議員 12ページ

1. 大阪の市長選・知事選の結果からうかがえる市民や国民の求めている政治手法のあり方を考慮した燕市政を…
2. 市のみならず市の教育委員会も燕市議会を追認機関と見ているのではないかと…について
3. 『燕市学校教育基本計画』についてを問う
4. 行政視察で訪れた他市から学ぶべきこと

(一般質問の通告順に掲載)



中島 清一 議員 旭日会

TPP問題について市長の考えは震災がれき受け入れに市の対応は

問① 野田首相はTPP交渉へ参加する方針を表明した。交渉の対象分野は関税以外にも金融、電気通信、労働など21分野に及ぶ。交渉への賛否をめぐっては、まさに国論を二分する大きな問題となっている。賛否両論がある中で市長はどのような考えを持っているのか。

答① 非常に重要な問題であり、国の責任においてメリットやデメリットを説明すべき問題である。影響だけではなく、それを政策でどうカバーするかという政策論もセットでなければならない。

問② 東日本大震災で大量に発生したのがれきの処理が大問題になっている。のがれきが撤去されなくては被災地の復興は始まらない。放射性物質への不安から受け入れは東京都など一部に留まっている。県内でも受け入れへの検討が始まっているが、本市の対応は。

答② 被災地のことを考えれば受け入れたい気持ちには十分にある。しかしながら、現在ごみ焼却場は長寿命化工事中で、不燃物処理場は24年度までの増設事業に着手しているところであり、受け入れられる状況にない。今後は国や県の検査体制、基準など動向を見ながら対応を考えていきたい。



急がれる被災地のがれき処理

問① 最初に市長の政治姿勢について伺う。私は国の政治が悪くなると市役所を通して、その悪い政治が市民に押し付けられてくるという危惧を持っている。その意味で今の民主党政治が取ろうとしている社会保障と税の一体改革の問題について市長に聞きたい。

答① 社会保障と税の一体改革の質問だが、少子高齢化の進展をはじめ社会情勢が変化する中で、国民生活の安心を確保するためには社会保障制度が非常に重要なものになる。増え続ける社会保障給付、これをこれ以上赤字国債に頼り、将来世代に負担を先送りし続けることは、持続可能性という観点から問題があることを認識している。持続可能性を確保する財源として、すべての世代にわたって広く薄く負担を分かち合い、景気変動の影響も少ない消費税を充てることは一つの有力な考え方ではないかと考える。

問② 農協その他の農林事業団体の全国的な猛反対の中で、野田首相はTPPに参加する方針を決定した。政府民主党は日本の農業を守るために規模拡大を言い、20、30ヘクタールの規模にするというわけだが、燕市の農業の状況の中で、果たしてできる相談と考えるか。



区画整理を終えた農地

答② 将来像としては集落単位ごとに20、30ヘクタール程度に一つの担い手経営体を作り、集落でまとまりのある作付と複合経営も一つの有効手段だと思う。



本多 了一 議員 日本共産党議員団

社会保障と税の一体改革は市民の暮らしを脅かす

問① 教育立市宣言から3年が経過したが、教育の資質の向上、教師に雑務が多く子ども向き合える時間の減少、保護者との関係や地域との状況など、これらの課題を克服するための方策について伺う。また、教育力・学力向上のため、家庭や地域の連携も欠かせぬ重要な問題であると考えられているか。

問② 農協その他の農林事業団体の全国的な猛反対の中で、野田首相はTPPに参加する方針を決定した。政府民主党は日本の農業を守るために規模拡大を言い、20、30ヘクタールの規模にするというわけだが、燕市の農業の状況の中で、果たしてできる相談と考えるか。



区画整理を終えた農地

答② 将来像としては集落単位ごとに20、30ヘクタール程度に一つの担い手経営体を作り、集落でまとまりのある作付と複合経営も一つの有効手段だと思う。



樋浦 恵美 議員 公明党議員団

心の健康対策、子育て・教育環境の整備について

問① うつ病防止対策として、携帯電話やパソコンで心の状態を調べられる「こころの体温計」を市のホームページからアクセスできるシステムを導入できないか。介護に携わる方々が同じ悩みを分かち合い、集える場を提供してはどうか。

答① 携帯電話やパソコンから心の落ち込み度を確認できるシステムは有効な手段であるが、県全体としての取り組みが必要と考えている。24年度の県当初予算に要望していきたい。介護者の心のケアについて、燕市では社会福祉協議会に在宅介護者リフレッシュ事業を委託している。心のケアがもつと気軽に受け入れられる支援策の検討も必要だと認識している。

問② 病後児保育について、具体的な検討はされているのか。吉田南地区統合保育園について、運営が民営になることで不安に思っている市民の方も多い。公立との比較をした場合、デメリットを少なくしていく必要があるが、どう考えているのか。吉田・分水統合給食センターの民間委託事業者を選定する選定委員会、いつ設置するのか。選定範囲は市内か県内であるのか伺いたい。

答② 病後児保育については県内の先進地を視察し、施設型におけるさまざまな課題が分かった。国ではファミリーサポートセンターによる事業を進めており、市でもその検討を始めている。病後児保育が実施できる提供委員



吉田南地区統合保育園の建設地となる旧吉田南小学校跡地

の確保・増員に努めたい。吉田南地区統合保育園については今後も三者協議会を行い、保護者の皆様の不安を取り除き、万全な体制で開園できるように進めていきたい。統合給食センターの選定委員会は、建設工事を着工した後には設置する。良い事業者を選定したいので、広く募集したい。



埴 豊 議員 旭日会

八王寺佐渡線開通に伴い予測される交通渋滞の対策は

問① 子どもたちを取り巻く環境や発達の違いから、主体的に学習に取り組む態度や学習意欲に差が見られ、学習に対する児童生徒の意識は多様化していること認識している。今後の学力向上を図る取り組みとして、わかる授業の実践を通し、子どもたちの学習意欲を高め、家庭学習習慣の確立

問② 開通目前の八王寺佐渡線と主要地方道新潟線との交差点の渋滞問題と、現在実施されている穀町地内の定期朝市問題について伺いたい。

問③ 一括交付金が国庫補助金から姿を変えていくことは確実な情勢である。財政を預かる者と



中央橋もとの交差点

を推進していきたい。また、学校教育に対する地域の支援も不可欠であり、学校支援地域本部事業をより活性化させ、研修や先進地視察などを強化したい。

答③ 一括交付金に限らず予算組みの考え方として、財源があるから行うのではなく、必要な事業に財源を充てていくことが重要であり、予算編成の鉄則を今まで以上に貫いていくことが必要と考える。



渡邊 雄三 議員 公明党議員団

共助社会の仕組みづくりと 高速バス利用者のための駐車場設置を

問① 地域で支え合う社会の仕組みづくりについては、孤立社会から共助の社会を目指していかなくてはならないと思う。少子高齢化、核家族化、地域における人間的なつながりが薄れている。これらのことを解決するためには、共助社会の仕組みづくりが必要である。3月議会の質問に対し、市長は新年度にプロジェクトチームを立ち上げて課題を検討するとしていたが、現在はどうなっているのか。

答① プロジェクトチームは23年5月に高齢者福祉の在り方研究会を立ち上げ、先般、中間報告が行われ説明を受けた。引き続き事業精度を上げ、既存の事業と統合連携することも指示した。研究会

問② 高速道路が整備され、高速バスが運行されるようになってから長い年月が経つが、いまだに三条燕インターの高速バス利用者のための駐車場が整備されていない。早急に駐車場整備していただきたい。

答② 高速バスの停留所が設置され、毎日通勤や買い物などの目的で多くの方が利用している。しかし、まとまった用地の確保が難しく今日に至っている。市としては今後とも引き続き知恵を出し、駐車場の確保のため努力していきたい。

問③ 住宅用火災警報器の設置が義務付けられた



三条燕インター付近の駐車状況

が、設置率が64%と低い。今後、生活弱者とされている方々に対して、住宅用火災警報器の購入補助はできないか。

答③ 現在「燕市老人日常生活用具給付事業」として高齢者世帯等に対して補助がある。該当する世帯については、この事業を利用していただきたい。



齋藤 信行 議員 日本共産党議員団

燕はひとつプロジェクト 夏祭り交流促進事業について

問① 燕はひとつプロジェクトの夏まつり交流促進事業で、新しい踊りを創作して披露していくことにしているが、それ以外にも祭りを盛り上げる仕掛けはあるか。市内のよさこい団体と、「恋ツバメ」の作曲者を交えて踊りの完成に向けて調整しているが、市内には各地区に太鼓の団体もある。太鼓の曲としても編曲して使ったらどうか。

答① 今年1月からよさこい10団体と新しい踊りの創作に取り組み、今年度末に完成して夏祭りでも披露する。燕、分水、吉田が一緒に踊ることで地区間の一体感の醸成と、祭りの活性化につながる。太鼓への編曲はテンポの問題もあり、新しい曲を作ることができれば新

問② 市には専門的業務の派遣、出向職員がいるが、その職員の持つノウハウなどを他の課でも活用してはどうか。

答② 国、県、民間から採用している出向、派遣、任期付き職員は集中的に特命事項を担当するが、他の部署や全庁で貴重なノウハウを活かすことも重要。三役・部課長の政策研究会で専門的知識や経験などを話してもらったほか、全職員を対象に経験談や改善点などを伝える取り組みもしており、さらに市役所全体で活用できるようにしたい。



昨年の飛燕夏まつり

問③ 大河津分水路・新可動堰の通水式も行われた。周辺工事はまだ続くが、今後は分水路の抜本改修にシフトしないという

答③ 通水式で知事が新可動堰の完成は一里塚で、さらなる堤防の強化などを挙げたことに注目したい。燕市も抜本改修や右岸堤防強化を訴えてきたが、さらに早期実現に取り組みたい。



中條 征男 議員 鴻鶴クラブ

循環、巡回バスの運行状況は デマンド運行計画は

問① 循環バスの目的は何か。見直しも検討されているが、計画を急ぐべきでないか。デマンド運行を検討しているが、循環・巡回バスと同時運行するのか。新庁舎完成時に運行経路の見直しというが、その前に見直す計画は。

答① 通院や公共施設などを回る生活移動手段として運行している。高齢化社会が進む中、福祉政策の一環を目的とし、交通手段を持たない市民に対して買い物などにも対応する見直しを行なっている。巡回バスにはいくつかの課題や要望もある。デマンド交通システムと巡回バスをどうするか検討中である。おのおのには役割や機能分担があるので、循環・巡回・デマンドと、すべてのバスが同時に

問② 吉田ふれあいセンターの施設運営をどうとらえているか。施設内の管理は適していると思われるか。指定管理者制度の計画は。

答② 市民の文化の高揚と福祉の増進を図る目的で設置し、市内62の文化芸能団体や婦人会、まちづくり協議会などの自主活動の場として利用され、生涯学習の場



吉田庁舎前を出発する循環バス

あると捉えている。年間1万7000人の利用者があり、地域にとっては欠くことのできない施設。清掃等の管理は臨時職員やシルバーの代行員が行い、利用者も後始末の協力をいただいている。指定管理者制度の計画はないが、今後の施設管理のあり方を検証したい。



土田 昇 議員 日本共産党議員団

平成24年度予算編成の 基本方針と重点施策について

問① 限られた財源の中で、来年度予算についてどのように配分するか。福祉予算、暮らしに関する予算、教育に関する予算が削減されると直接市民生活に大きな負担となるが、福祉、暮らし、教育最優先の予算であったが、市の基本姿勢と重点施策について伺う。

答① 基本的に私が目指している「日本一輝いている燕市」。この実現に向けて、産業の振興をどうするか、それはもとより教育も含めた未来の燕市を担う子どもたちの育成や、福祉の充実などの各事業に取り組んでいきたいと考えている。

さらに、総合計画の後期基本計画に示された目指すべき5年後の姿、こ



改築が進む吉田小学校

問② 吉田小学校の改築事業の財源の内訳について伺う。

答② 本事業の現時点での事業計画額は約33億円となっており、財源内訳

問③ 平成25年に吉田小学校の校舎が完成しても体育館は1年間先送りになるが、早期の実現に努力するべきと考えるがその点について伺う。

答③ 体育館については現在の中央保育園やプールの跡地に建設を計画しており、吉田地区統合保育園の開園を26年度に計画しており、全体の計画を見据えながら計画している。



山崎 雅男 議員 旭日会

地域活動支援や地域連帯意識向上に多大に寄与している粟生津・吉田北公民館

問① まちづくり協議会市民協働を成就させるには、市民に対し信頼関係を構築するための努力が必要。行政業務を減らし、地域に委ね財政難を乗り越えるという発想では、地域活性化、人材の発掘や育成など住民自治は育たない。市長は、地区協議会の総会で協議会の必要性と重要性を強調した中で、補助金等を平成20年から23年まで35%減額とし矛盾している。地域の実情、取り組みを知り得た中で方向性を示すべき。

答② 具体的な協議はしていないが協議会から話があれば考えていきたい。

問③ 粟生津・吉田北公民館はさまざまな活動拠点の大切な場所、地域コミュニティの核でもある。伝統ある粟生津親栄会・吉田北友会が管理運営することにより、地域づくりに関する活動支援や、地域連帯意識向上に多大に寄与している。

答③ 粟生津・吉田北公民館等施設は行事等を多く抱えている中で、大いに利用願いたい。人口当たり利用率・公費支出額は粟生津公民館97.2%で357円。吉田北公民館は58.5%で356円である。



毎年恒例の粟生津地区サマーナイトフェスティバル

か。特性を生かすことも大事である。人口当たりの利用率と利用者一人当たりの公費支出額を伺う。

問① 売却理由と最低価格1千万円の根拠は。
答① 当初は取り壊し、更地にして売却する予定だったが、地域の利用者の存続要望と、市の財政負担を伴わないままで駐車場を維持していくため、民間への売却とした。価格は土地の評価から解体費を考慮した。

問② 昨年度決算では、150万円の利益を出した。今後リース契約も終了し、経費のかかる時間貸しをやめれば、400万円ほどの利益が出る物件になり、私とすれば超優良の投資物件と思える。350坪の土地と鉄骨とコンクリートのみの解体しやすい物件としては安すぎるのではないか。
答② 5年間のトータル

で考えると、420万円の赤字で、昨年は取り壊しを前提に修繕費を抑えたため利益が出た。今後、市が所有すると多くの経費がかかり赤字幅が膨らむものと考えている。

問③ 速やかに耐震補強とあるが、具体的な日時は示されているのか。議会において1億2500万円の補強費がかかるか説明されたが、買主にきちんと物件説明をされているのか。知らないで買うのなら市民である買主をだまして不法建築物を売ったことにならないか。また、補強を適当に済ませるならば価値ある物件を安く手放したことになる。市民の利益を損なったことになる。物件説明、契約書の明記は十分か。



50台以上の月極契約を持つ仲町市営駐車場内部

仲町市営駐車場売却について

中山 眞一 議員 旭日会

答③ 遅くとも5年間の前半のうちに耐震診断をした状況を、アスベストの関係も含め情報提供し、きちんと補強をしていただけるものと思う。契約の第1条に信義誠実の義務をうたい、理解した上で今後の駐車場管理を進める前提での契約がなされるものと考えている。



タナカ・キン 議員 無所属

酒呑童子行列に若者のアイデアと行動力を

問① 産業史料館を訪れる団体客や市外からの来館者に、ガイドのサービスを提供してはどうか。

答① 現在、団体入館者及び個人の事前予約者に対しては行なっている。学芸員による展示品説明は楽しい説明でわかりやすいと好評である。今後は、他の職員も同様な説明ができるようレベルアップを図っていきたい。

問② 酒呑童子行列をいろいろな道中に匹敵するようなイベントに再生できないものか。

答② イベントを盛り上げていくには、若い人達からアイデアと行動力が必要。今後は企画の段階から若い世代に参画してもらい、子どもからお年寄りまで参加するイベントに育てていきたい。

問③ 図書館ではパソコンの利用はできるが、プリンターが無く、インターネットで検索してもプリントアウトができない。

答③ 著作権法上の制約から印刷サービスを行うことは適法ではないとの理由でプリンター等は設置していない。県立図書館等、他の図書館も同様の扱いである。

問④ 中央公民館での文化祭では、利用しているサークルの人たちでパネルの運びや設置をしているが、利用者の高齢化により、大きなパネル等の扱いに苦慮されるケースが見受けられるが。

答④ 一部の地域ではパネル立てを市が行なっているところもある。今後は実態に合わせて職員が行ったり、委託をするなどにより支援をしていきたい。



昨年の酒呑童子行列

問⑤ 在宅介護手当の見直しによる経済的弱者については再検討の余地があるとのことだが。

答⑤ 市民税非課税世帯で一定の要件に該当すれば、介護保険サービス利用料の約4分の1を軽減している。さらなる軽減策は現在検討中である。



長井 由喜雄 議員 日本共産党議員団

要介護2以下を切り捨てず、在宅介護手当は存続を

問① デジタルテレビ放送の特性を活かし、画面に災害情報を載せられないかと考えた。地方自治体の立場からも活用する方法について探っていくことが市民の利益にもつながると考えるがどうか。また、今後全小学校区全部で避難訓練を行い、課題を見つける姿勢を持つてほしい。

答① 県の防災担当課長会議でも議員が提案の質問、要望が同様に提出されていた。今後調査、研究をしていきたいと思う。小学校区はひとつのモデルだ。複数小学校区参加も差し支えない。

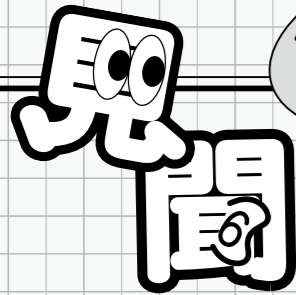
問② 調剤費負担の減に結びつく、ジェネリック薬変更差額通知の実施は、10月に行われた国保システムの變更に伴い、これを

を実施したいとの9月議会答弁だったがどうなったか。時間がかかるのであれば市独自に実施するべきではないか。
答② 国保連合会では実施の時期についてはまだ確定していない。国保連の動きを待たず、事業効果を上げるため早期の取り組みをしたほうがいいとの判断から、今後市単独事業での差額通知を行いたい。同時に同医薬品を推奨することが家庭だけでなく市全体に大きな効果を与えることの説明と、普及についての取り組みを指示した。

問③ 在宅介護手当は、燕市民としての在宅要介護者の介護環境を

Table with 2 columns: 介護費負担軽減の状況 (Situation of relief of nursing care costs) and 介護費負担軽減の状況 (Situation of relief of nursing care costs). It lists various categories like '要介護1' and '要介護2' with corresponding cost reduction amounts.

守る役割を大きく果たしてきた。要介護2以下の人は24年度からカットするとしているが、財政環境が厳しくともこれを撤回することを求めたい。
答③ 手当がこれまで在宅介護サービスを利用される高齢者や家族にとって大きな役割を果たしてきたものと認識している。限られた財源の中で医療、福祉施策のバランスを取るためにもご理解いただきたい。

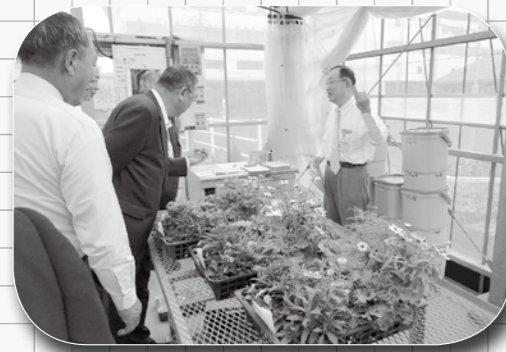


勉強に行って
来ました!

平成23年度 燕市議会 行政視察の報告

燕市議会の議会運営委員会と3つの常任委員会では、先進的な取り組みや創意工夫を凝らした施策を実際に調査・研究し、燕のまちづくりに反映させ、市民サービス向上につながるよう、行政視察を行っています。

燕市議会 で今年度実施した行政視察の内容を報告します。



【市民厚生常任委員会】戸田市のリサイクルフラワーセンターで、市民から出された生ごみと花苗の交換事業について説明を受けました。



【議会運営委員会】御船町で「議会改革の取り組み」議会基本条例の制定過程、「議会モニター制度」について研修しました。



【産業建設常任委員会】「ものづくりもう一押し支援事業・国際家具デザインコンペティション」を視察しました。旭川市役所



【総務文教常任委員会】「子ども条例・子ども施策の推進」について視察しました。名張市役所

委員会と視察日	視察地	目的
議会運営委員会 7月11日～13日	福岡県八女市	議会基本条例の制定過程および表決の賛否の結果公表ほか
	福岡県大牟田市	議会基本条例の制定過程および市民団体と市議会との懇談会ほか
	熊本県御舟町	議会基本条例の制定過程および議会モニター制度ほか
総務文教常任委員会 8月3日～5日	三重県名張市	子ども条例制度・子ども施策の推進について
	愛知県犬山市	学びの学校づくりについて
	岐阜県多治見市	健全な財政に関する条例について
市民厚生常任委員会 10月17日～19日	愛知県碧南市	公立保育園の民営化について
	埼玉県戸田市	環境政策について、リサイクルフラワーセンターほか
	神奈川県平塚市	地域福祉推進事業（町内福祉村事業）について
産業建設常任委員会 10月18日～20日	神奈川県茅ヶ崎市	店舗活用型就労支援事業について
	東京都稲城市	介護支援ボランティア制度について
	北海道旭川市	ものづくりもう一押し支援事業ほか
北海道深川市	地域資源を活用した特産品開発（ふかがわ元気会議交付金）ほか	
	北海道江別市	産・学・官連携による「江別小麦粉めん」ほかの取り組みについて

ようこそ
燕市へ!

他市町議会の来燕行政視察

17の市・町議会が燕市のさまざまな事業や施策について行政視察に来られました。

(下表参照)



「ビジョンよし」だ駐車場の風力発電機を視察する中間市議会（10/19）

(平成24年2月15日現在)

月日	視察に来られた議会と視察の項目
H23 6/2	【新潟県村上市議会】 食品資源リサイクル事業について
7/13	【山形県南陽市議会】 商店街の活性化への支援事業について
7/20	【秋田県能代市議会】 新庁舎建設について
7/26	【群馬県伊勢崎市議会】 中小企業振興条例、住宅リフォーム助成事業
7/29	【香川県善通寺市議会】 心の燕市8つのチャレンジ
8/10	【京都府城陽市議会】 心の燕市8つのチャレンジ
8/10	【埼玉県志木市議会】 熱年成人式、せんてい君
8/15	【青森県青森市議会】 教育立市宣言について
10/4	【和歌山県海南市議会】 まちづくり基本条例、まちづくり支援事業
10/19	【福岡県中間市議会】 新エネルギー設備等導入設置費補助金 風力発電について
10/24	【秋田県湯上市議会】 新庁舎建設事業と都市計画マスタープラン
11/8	【福岡県遠賀郡水巻町議会】 新商品開発助成事業について
11/9	【福岡県朝倉市議会】 まちづくり基本条例について
11/15	【大分県日田市議会】 まちづくり基本条例について 燕はひとつプロジェクト事業について
11/16	【福岡県筑紫野市議会】 まちづくり基本条例について
H24 1/18	【大阪府守口市議会】 新庁舎建設事業について
2/9	【東京都西多摩郡日の出町議会】 体育センター、文化会館について

Q 市政に対する一般質問



行政視察先で見られる
積極性は何かからきているのか?

阿部 健二 議員 無所属

問① 10月の市民厚生常任委員会の行政視察では、戸田市の古布から作ったフェルトを敷きつめた市役所屋上のフェルトガーデンと、家庭から出た生ごみと交換する花の苗を障がい者と高齢者で栽培しているリサイクルフラワーセンターを訪れ、平塚市で

は町内単位で福祉事業を展開している城島ふれあいの里などを訪れた。茅ヶ崎市で市の経営で障がい者就労を支援している店「カフェサザンポ」を訪れて思ったことは、かつてつばめ福祉会が仲町の介護施設建設に際し障がい者のパン工場で焼かれ

たパンの販売と喫茶コーナーを作りたいたいの提案に市として茅ヶ崎方式を生かせなかったものか。また、これからも検討の余地はないか。稲城市は介護ポイントで二人(年間)5000円までの交付金を出しているが、事業効果として要介護者の減少が見られ

るといふ。ボランティアたちの介護保険料の負担軽減につながることも、介護予防の見地からも、燕市でも稲城市のような介護支援ボランティア制度が実施できないものか。

答① グループホーム仲間については、つばめ福祉会が障がい者の自立を目的としたパンの販売と喫茶コーナー、授産事業としての福祉販売などについて将来的な構想として計画されていたところで、今後福祉会でパンを製造する生産能力など条件整備

をはかりながら検討されるものと思っている。介護支援ボランティア制度については、ボランティアに参加して生きていることで元気なお年寄りが増え介護給付費の抑制につながるなどの効果が期待されるが、稲城市のようにポイントでお金を出すことがボランティアの趣旨に合うのか、制度として持続可能かを研究していきたい。



障がい者の就労を支援する「カフェサザンポ」